

## Okayama

岡山大学病院  
院内がん登録室

## 晴れの国おかやま

岡山県は中国地方南東部に位置し、東は兵庫県、西は広島県、北は中国山地、南は瀬戸内海に面しており、典型的な瀬戸内海気候で、確実に晴れの日が多く、災害が少ないことで「晴れの国おかやま」を、また温暖な気候を活かしたフルーツの生産振興で「くだもの王国」をPRしています。

## 岡山県

人口約187万人(R3年6月現在)で、人口の約6割は岡山市と倉敷市に居住しています。

山陽道の中央に位置し、国内外へ飛び立つ岡山桃太郎空港を有し、山陽新幹線の全営業列車が停車するなど、中国四国地方の交通の要衝として古くから重要な位置にあります。



## 岡山大学病院の紹介

岡山大学病院は岡山市中心部に位置し、東西南北に渡り交通の便も良く、医科部門、歯科部門を備えており、平成18年8月に厚生労働大臣より岡山県の「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定され、地域における質の高いがん医療体制の整備、地域医療機関との診療連携の推進、がん患者と家族に対する相談支援及び情報提供に取り組んでいます。



岡山大学病院診療情報管理室のようす

腫瘍センター、乳がん治療・再建センター、頭頸部がんセンターや臓器移植センター、ゲノム医療総合推進センターを始めとする診療科連携を活かした集学的チーム医療を提供するとともに、サルコーマセンター、メラノーマセンター、小児医療センターでは希少がんに対しても大学病院の特性を活かした高度な医療を提供し、中四国地方を中心に多種多様ながん診療に対応しています。

## 院内がん登録室紹介

院内がん登録室は室長である副病院長の他、外科医師、内科医師、看護師、診療情報管理士で組織され、がん診療連携協議会などへの参加、情報提供に対する審査や、運営に関する審議等を行っております。

## 院内がん登録業務

院内がん登録業務においては初級認定者3名、中級認定者2名で年間3,000件を超える登録を行っています。

都道府県がん診療連携拠点病院の役割として、2014年症例より県内のがん診療連携拠点病院7施設の院内がん登録データを、2015年からは更に地域がん診療病院2施設、県指定のがん診療連携推進病院4施設の院内がん登録データを収集し、全県及び施設別に集計し、岡山県内のがん診療の動向を報告書にまとめています。この報告書では希少がん、小児・AYA世代のがんについても集計し、分析も行っています。

その他、県内の実務者のスキルアップを目指して、院内がん登録研修を年3回行っておりましたが、昨年はCOVID-19の影響により、年1回半日のweb開催に留まっております。

今後もweb開催が続きそうな状況ではありますが、以前は参加が出来なかった遠方の施設からも大勢の研修会参加が可能になり、更にはありがたいことに県外からも多数参加していただき、改めて、基礎からの研修を開催して行こうと計画しています。